

知床の窓から見えるもの

2020年4月9日（木曜日）

「北海道長距離バスの旅 横綱対決!! ①」

「線路は続くよ〜どこまでも〜♪」懐かしいですね。原曲がアメリカ民謡だと知っていましたか？数十年前は、北海道内に張り巡らされていた鉄道網も、ローカル線の相次ぐ廃線で、鉄道ファンの僕としては寂しい限りです。そんな哀愁とは裏腹に、近頃は、鉄道よりも高速バスを選択する人が増えているようです。北海道内の高速道路網が着実に広まり、一昔前は「安いけど、遅い」と言われていたバスが、今では「安いし、便利だし、時間はあまり変わらない」って時代になりました。実際、僕も高速バスをよく利用します。鉄道愛はどこへ行ったかって？だって便利だもの。つい最近も高速バスに乗ったのですが、ふと「道内で札幌からバスに乗って、一番時間が掛かる場所はどこだろう？」なんてことを考えました。実体験も踏まえ、答えは明白。そう、羅臼です。

「でっかいどお北海道」なんて全日空のキャッチコピーがありました、ホントに広い。札幌を起点として、北は稚内市(高速わっかない号:所要時間5時間50分)、南はえりも町(高速えりも号:所要時間4時間)、東は根室市(オーロラ号:所要時間9時間)、西は函館市(高速はこだて号:所要時間5時間30分)と言った具合に、北海道内、津々浦々です。高速バスに乗り慣れると(自称セミプロ)、直通バスであれば、時間が掛かっても割と平気です。乗って降りるだけです。根室行きオーロラ号は夜行バスなので、乗車時間こそ長いものの、起きたらそこは目的地。問題は(問題か?)、乗り継がなければ辿り着けない場所です。言わずもがな、北海道は僻地だらけですが、直通バスの通過ルートであったり、高速バスの終点から乗り継いでも、さほど時間が掛からなかったりする場所が多いのです。そんな北海道のバス事情を踏まえると「北海道キングオブ長距離バス(水曜どうでしょう的な)」は、東の横綱「羅臼」、西の横綱「松前」の一騎打ちでしょう。

そこで、今回は「札幌発、知床らうす国民健康保険診療所行」vs「札幌発、松前町立松前病院行き」の様をお伝えします(勝手に西の横綱にして、松前町の皆様ごめんなさい…)



羅臼診療所前 バス停